

第3回 プラネタリーヘルス（地球の健康）に対して、何ができるのか？（1月8日）

こんにちは、長崎大学人、河野茂です。

長崎大学の存在意義は、地球の健康を守り、増進させることにあると思います。

では、私達ひとりひとりに何ができるのでしょうか？

もちろん、エコバックを使用し、ゴミの分別を正確にすることは大変重要なことです。

地球の不健康は、表面的には海洋を含めた環境問題ですが、深層には、

教育や経済あるいは文化的な問題が潜んでいると思います。

さらに不健康の解消には、環境の改善に加えて、人文科学的な解決が必要なわけですが、

これらだけでなく、まるで生き物のように生化学や生物学等の基礎学問の力も

必要となるでしょう。

アカデミックな分野に生きる大学の教職員には、地球の健康増進に貢献できる知識、

技術を持っているはずで。

皆さんは、それぞれの分野で何ができるかを考えてみてください。

ぜひ、ご意見をお待ちしております。

幸いにも昨日、いくつかのメールを頂きました。

長崎大学人とは、何ですか？ という、質問を頂きました。私は、長崎大学人とは、

長崎大学の教職員や学生だけではないと思います。卒業生だけでもないと思います。

長崎大学と関わり、行動を共にする人と思います。

長崎大学人＝長崎大学をベースに行動する人。

ぜひ、プラネタリーヘルス（地球の健康）のために、行動を起こしてください。

それが、長崎大学人と思います。